

後援会だより

第52号

令和8年9月17日発行
中国学園大学 後援会
中国短期大学 後援会
会長 土谷 由美子
〒701-0197
岡山市北区庭瀬83番地
TEL (086) 293-1100
FAX (086) 293-3993



自立への歩みを確かな愛で

後援会会長 土谷 由美子

そろそろ燕が南の空に帰ってゆく季節となりました。会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本会（中国学園大学・中国短期大学後援会）の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新入生を迎えて五か月余り、学生たちは新しい環境での学びや、サークル活動、友人たちとの交流を通じて、日々大きく成長していることと存じます。大学・短大に入学から卒業するまでの期間は、人生の中で最も多くを吸収し、自立へ向けて準備をする大切な時間です。私たち後援会は、学生の皆さんが安心して充実した学生生活を送り、社会へ巣立つための支援を行ってまいります。

今年度からは、世界と出会えるキャンパスとなりつつあるようで、国際化が進み多様な文化や価値観が交じり合うキャンパスは、彼らにとって素晴らしい学びの場であると同時に、日本人学生にとって国際感覚を養い、かけがえのない友情をはぐくむ貴重な機会となっております。

一方、物価高騰や価値観の多様化など学生を取り巻く環境が激変する中、一人ひとりが安心して夢に挑戦できる環境づくりはこれま

で以上に重要となっております。

学生の皆さんが視野を広げ未来を生き抜く力を育めるために後援会が支援していかねばいけないと思っています。後援会は、学生の皆さんが「この大学・短大で学んでよかった」「誇れる母校」と感じられる大学・短大であり続けられるよう、大学・短大と連携しながら支援に努めてまいります。

十月に開催されます白鷺祭（学園祭）では、後援会役員で後援会カフェを開設します。お菓子や飲み物を無料で準備してお待ちしております。親睦を図るためにぜひ訪ねて役員たちとおしゃべりしてください。お待ちしております。

最後に、本会報が会員の皆様と大学との架け橋となり、会員の皆様にとって、より一層大学・短大への関心につながる機会となれば幸いです。

これからも大学・短大と緊密に連携し、正課および課外活動への支援、学生のキャリア形成支援などに尽力してまいります。会員の皆様におかれましても、引き続き本会の活動へのご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和八年度第一回役員会

今年度第一回役員会が、六月二十日(土)本学内で開かれ、総会への提出議題等が協議されました。提出議案は次のとおりです。

- 第一号議案** 令和八年度役員の選任について
- 第二号議案** 後援会会則の一部改正について
- 第三号議案** 令和七年度事業報告及び決算について
- 第四号議案** 令和八年度事業計画案及び予算案について
- 第五号議案** 総会並びに学科別懇談会の開催について

左記のとおり今年度役員が選任されました。



令和8年度 中国学園大学・中国短期大学 後援会役員名簿

役 職 名	氏 名	備 考
会 長	土 谷 由美子	
副 会 長	西 山 加奈子	情報2年
	山 田 幸 子	栄養1年
常 任 委 員	大 枝 須美子	栄養2年
	西 江利子	栄養3年
	西 川 しのぶ	栄養4年
	石 田 千穂美	子ども1年
	岩 田 佳 子	子ども1年
	神 宝 芳 美	子ども2年
	岡 良 枝	子ども3年
	石 橋 理恵子	子ども4年
	中 田 説 子	国際1年
	山 村 晶 子	国際2年
	眞 治 スサン	国際3年
	濱 田 正 美	国際4年
大 学	小笠原 美 代	総生1年
	下 村 一 範	総生2年
	明 石 靖 江	保育1年
	田 中 久美子	保育2年
監 査 委 員	後 藤 正 明	情報1年



大学・短期大学の現状と今後の展望

学長 加賀 勝

後援会の皆様におかれましては、平素より本学園の教育・研究活動に深いご理解と格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

本学園は、これからの時代を担う若者たちの学びと挑戦を支え、地域社会はもとより国際社会にも貢献できる人材の育成を使命として歩み続けております。その歩みを力強く支えてくださっているのが、後援会の皆様の温かいご支援です。皆様のご期待に応えるべく、教職員一同、教育の充実と大学の発展に努めてまいります。

本学園では、学生が充実した学びと豊かな学生生活を送ることができるよう、さまざまな取り組みを進めています。昨年の「第六〇回白鷺祭」には二、一八六人が来場し、コロナ禍以降最多の参加者を迎えることができました。大学祭の運営に際しても、後援会の皆様には多大なるご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、平林景氏を招いたシンポジウム「岡山 uttate(うつたて) 福祉のミライ」の開催をはじめ、本年三月の卒業式後にはハラミちゃんによるサプライズピアノライブ、四月の入学式では和太鼓サークル「鼓魂(こだま)」の演奏など、学生の成長を彩る多彩な行事を実施してまいりました。

教育面では、本年度より本格実施した短期大学三年コースに合わせて六〇名が在籍

し、新たな学びの形が着実に定着しています。また、八か国から外国人留学生を受け入れ、キャンパスの国際化も進展しています。さらに、五月一日現在の就職率は大学九九・三%、短期大学九六・三%と高い水準を維持しており、本学園の教育成果が社会から高く評価されているものと受け止めています。

本学園では、「変わる人になろう。」をスローガンに、教育内容や教育環境の充実に向けた改革を着実に進めています。一方で、少子化の進行や公的支援の制約により、地方私立大学・短期大学を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。学生への支援をさらに充実させ、質の高い教育環境を維持していくため、本学園では「しらすぎ基金」を創設いたしました。学生たちの未来を支える取り組みへのご理解を賜り、本基金への温かいご支援をお願い申し上げます。後援会の皆様には、経済的なご支援をはじめ、学生の文化・体育活動、学生生活、就職支援、施設整備など幅広い分野で多大なるご協力をいただいております。皆様のお力添えが学生一人ひとりの成長と本学の発展を支えておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大学・大学院 短大の近況報告

大学

現代生活学部

学部長 坪井 誠二

後援会の皆様には、日頃より本学部の教育活動に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

令和八年四月二日の入学式では、希望に満ちた新入生三十九名、転入生一名、編入生三名を迎えることができました。前期には、大学教育への導入科目である「ファーストイヤーセミナー」が開講され、学生たちは少しずつ大学生活に慣れ、日々意欲的に学業に励んでいます。二年生は「栄養セミナーⅡ」において菜園活動に取り組み、収穫した野菜を使用した料理コンテストを開催しました。当日は加賀学長にもご臨席いただき、試食・審査のうえ、学長賞を選定していただきました。

三年生は「栄養セミナーⅢ」の地域連携活動として、地域の料理教室(写真)や公民館での活動に積極的に参加し、実践的な学びを深めています。

四年生は、臨地実習を無事に終え、それぞれが実習の成果を報告しました。十月には、卒業研究発表会を予定しており、これまでの学びの集大成として研究成果を発表します。



子ども学部

学部長 中 典子

後援会の皆様には、日頃より子ども学部子ども学科に対してご理解とご配慮を賜り、心よりお礼申し上げます。

子ども学部子ども学科は、令和六年度に引き続き、令和七年度も、多数の学生を小学校教員、幼稚園教諭・保育士・保育教諭として送り出すことになりました。これは、学生たちが、希望する進路を目指して乳幼児期の子どもを理解した教育者、また、学童期の子どもを理解した保育者を目指して学んだ成果です。

そして、学童保育の保育者を目指すために放課後児童指導員資格を取得し、放課後児童クラブで子どもの暮らしに対する支援をする進路を目指した学生もありました。また、准学校心理士資格、認定給本士の称号を得るために学びを深めた学生もありました。このことも、乳幼児期・学童期の子どもを理解するための学びです。子ども学部子ども学科で〇歳から十二歳までスペシャリストを目指して学生たちが頑張ってくれたことが、希望する進路につながりました。

学生たちは、学童保育実習、施設実習、保育所実習、幼稚園教育実習及び小学校教育実習を履修し、教育・保育の場で指導を受け、終了後の報告会で学びを振り返りました。また、各自自習スペースで就職に向けて勉学に励みました。

子ども学部子ども学科で、学生自身が希望する目標を目指し頑張ることができるよう、教員一同、今後とも、学生への指導をしていきたいと考えています。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願います。



国際教養学部

学部長 藤代 昇丈

国際教養学部はグローバル時代に活躍できる人材の育成を目指し、開設十二年目を迎え、卒

業生は八期生までが社会の各方面で活躍しています。

今年度より、これまでのコース制ではなく、自分の進路・興味・関心に合わせて、「英語コミュニケーション分野」「日本語・日本文化分野」「国際ビジネス分野」の三つの分野から自由に科目選択できるようにする改定を行いました。

また、新入生として、日本人学生に加え、ネパール、ミャンマー、中国、スリランカから計四十名の留学生を迎え、国際教養学部らしい国際色豊かなクラスで日々異文化交流が行われています。

六月には一年生を対象としたオリエンテーション研修を、日本人学生と留学生との交流、および学生と教員の親睦を深めることを目的に、香川県のNewレオワールドと四国水族館において日帰りで実施しました。



大学院

現代生活学研究科

研究科長 井之川 仁

いつも中国学園大学大学院現代生活学研究科に對しまして、格別のご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本研究科では、大学院での学びや各教員の研究内容を分かりやすく伝えるため、説明会、個別相談、研究紹介などの情報発信に取り組んでいます。昨年度は受験希望者が一名おり、研究科としても期待をもって準備を進めておりましたが、最終的には受験には至らず、残念ながら昨年度も大学院入学者を迎えることができませんでした。しかしながら、この結果を今後の研究科運営に向けた重要な課題として真摯に受け止め、歩みを止めることなく、本研究科の教育・研究の魅力、専門職としての成長につな

がる研究力を、より具体的かつ継続的に発信してまいります。

今後進学意欲を高める取り組みを着実に進めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

子ども学研究科

研究科長 中 典子

後援会の皆様には、子ども学研究科に對して日頃よりご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。



昨年度は残念ながら大学院への入学者確保ができず、令和八年度は二年生四名でスタートすることになりました。大学院生は、自身が関心を持つ研究をしている教員のもとで子ども家庭福祉や障害福祉に関する、心理学に関する、教育学に関する、ことをはじめとする指導を受けながら、日々、修士論文の完成に向けて頑張っています。また、幼稚園教諭専修免許状及び小学校教諭専修免許状の取得に向けて、勉学に励んでいます。

また、八月六日には、大学院二年生四名の修士論文中間発表会が実施され、その場所に大学院生の研究に関心を持つ学部三・四年生が多数参加してくれました。学部生たちは大学院生の発表を聞くことにより、卒業研究の進め方についての学びができたのではないかと思います。これにより、学生たちが大学院への進学を卒業後の進路選択の一つととらえてくれたらと願っています。

今後ともご指導・ご助言いただけますようお願い申し上げます。

短大

総合生活学科

学科長 中野ひとみ

後援会の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今年度、総合

生活学科は一年生四十七名、二年生五十三名でスタートしました。キャンパスには学生たちの笑顔と活気が満ちあふれています。



本学科は教育の根幹にコミュニケーション力の向上を掲げ、授業でのディベートや実習を通して、傾聴力と論理的思考力を重層的に養っています。ここで培った実践的な力を活かして、岡山市男女共同参画シンポジウムでの学生発表や多彩な資格の挑戦など、それぞれが充実した学生生活を謳歌しています。また、地域社会と連携した課題解決型学修も本学科の強みであり、昨年開始した学生主体の「ふれあいカフェ」では、多世代交流の拠点として共生社会を具現化しています。

個々の学生が、学内での豊かな学びを自信に変え、確かな進路選択へと繋げていきます。今後とも教職員一丸となりサポートしてまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

保育学科

学科長 土田 豊

保育学科は、一年生六十六名、二年生五十名で新年度をスタートしました。



長期履修制度を利用した三年コースが本格実施された本年度は、三年コース二十九名と従来からの二年コース三十七名で構成されることになりました。二つのコースの学生が楽しく学生生活を送ればと考えていた折、二年生有志が一年生同士はもちろん二年生とも交流が図れるようにと、入学して間もない四月八日に「春の交流会」を企画・運営し

てくれました。交流会では、中庭の満開の桜を見ながら一緒にお弁当を食べたり、グループに分かれてコミュニケーションゲームを実施したりしました。学生が主体となって行事を企画・運営する力が、こうして次の代に引き継がれ、保育学科の新たな伝統になってくれればと思います。

さて、本年度の保育学科発表会は、令和九年二月七日(日)に開催する予定にしております。二年間の学びの集大成の発表会にぜひお越しください。

後援会の皆様、今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

情報ビジネス学科

学科長 五百竹 宏明

後援会の皆様には、情報ビジネス学科に對しましてさまざまなご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

今年度、情報ビジネス学科では一年生六十五名、二年生五十三名の合計百十八名が学んでいます。一年生には三十九名、二年生には四名の留学生も一緒に学生生活を送っています。留学生の出身国は、ネパール、スリランカ、ベトナム、ミャンマー、バングラデシュ、モンゴルと六カ国に及び、国際色豊かなキャンパスになっています。

本学科の特徴のひとつに「資格取得奨励制度」があります。ITパスポート、日商簿記など、学科が指定した資格を在学中に取得した学生を表彰し、所定の奨励金を授与しています。学生が目標とする資格試験に合格できるように教員は質の高い授業を提供しています。

就職支援についても、入学時から「就活」への意識を高めるために各種の講座を提供しています。

後援会の皆様には引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。



全ての学生の納得のいく進路選択・自己実現への第二步を応援します！ —学内就職ガイダンスとインターンシップ等への積極的参加—

就職支援センターは本年度、新メンバーを迎えてスタートしました。引き続き各学科の教員と連携しながら、学生の皆さんの進路決定を全力で支援してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、昨年度末の本学卒業生の就職状況は、大学が九九・三％、短大が九六・三％と高い就職率を維持することができました。これもひとえにご家庭との連携、支援のおかげであり、感謝申し上げます。四月二十八日の新聞記事では「新卒大学生の三月末時点の就職決定率は過去三番目に高い水準」と報道されており、依然として人手不足を背景とした学生優位の「売り手市場」が続く一方で、大手就職情報サイトの調査によると、新卒のうちの四割超の学生が「就職先を安易に決めてしまったと感じる」と答えている、との報告もあります。就職活動の早期化と活動量の減少によって、学生と企業のミスマッチが生じている現状が心配されます。

政府主導の一応の採用ルールでは、六月一日から選考解禁となっています（図一）。しかし、この採用ルールは形骸化しており、実際は最終学年に上がる直前の三月から選考は始まり、早々に内々定を出して入社への承諾を求められるケースがあります。また「早期選考」の動きも年々顕著化してきており、早ければ前年度の夏・秋のインターンシップ等への参加時に「一次選考免除」にすから二次選考に進むよう声掛けされるような事例が本学の学生にも見られるのが現状です。

こうした現状に対応するため、本学では、計画的な就職ガイダンス（表一）を実施するとともに、学年を問わず個別に相談できる企画を工



学生支援センター
就職支援センター

図1 一般的な学生の就活スケジュール



最後に、保護者の皆様に七つのお願いを申し上げます（図三）。ある調査によると、「意思決定の際に誰の助言や意見を聞いたか」という問いに一番多くの学生が保護者の皆様と回答しています。ぜひ、学園と保護者の皆様とでお子様の幸せな就職を勝ち取りたいと思います。



夫するなど（図二）により、できるだけ早い段階から自己理解（自己分析）と仕事研究（業界研究）を進めてもらうべく、学外で実施される就活イベントや各企業のインターンシップ等に積極的に参加することを推奨しています。全ての学生が納得のいく進路を選択し、自己実現への第一歩を踏み出してくれることを期待しています。

表1 2026年度 就職ガイダンス全体計画

■ 全学実施 ■ 留学生向け ■ 希望者のみ

年	月日	時間	2027年3月卒業予定者 (大学4年生・短大2年生)	2028年3月卒業予定者 (大学1～3年生・短大1年生)
2026年	4/15(水)	14:50～16:20		【留学生対象】留学生就活オリエンテーション①【ハローワーク】～就職支援センター紹介・おかもま新卒応援ハローワーク～
	4/22(水)	14:50～16:20		第1回就活準備ガイダンス【リクナビ】～就職支援センター紹介、リクナビ登録・AIの正しい使い方～
	5/13(水)	14:50～16:20		【2年生以降向け】SPI対策講座【リクナビ】～就職支援センター紹介、リクナビ登録・SPI対策アプリ紹介～
	5/20(水)	14:50～16:20		【1年生向け】SPI対策講座【リクナビ】～就職支援センター紹介、リクナビ登録・SPI対策アプリ紹介～
	5/27(水)	14:50～16:20		第2回ここから始める仕事研究・インターンシップ【マイナビ】～就職情報サイトの利用について～
	6月			「働く」について考える月間
	6/10(水)	14:50～16:20		【留学生対象】留学生就活オリエンテーション②【ハローワーク】～日本の就職システム／スケジュール等について～
	6/17(水)	14:50～16:20		第3回就活研究①【OB・OGの就活体験から学ぶ】
	6月～9月			※【マイナビ：インターンシップ&キャリア発見フェア】等各種就活イベント ※各企業でのインターンシップ等（オープンカンパニー・職場体験）に挑戦！
	10/14(水)	14:50～16:20		第4回身だしなみ講座【はるやま】
2027年	10/21(水)	14:50～16:20		第5回履歴書・ES対策講座【マイナビ】
	10/28(水)	14:50～16:20		第6回面接対策講座【マイナビ】
	10月～11月			【留学生対象の学外イベント】（仮）就活セミナー&企業相談会への参加
	11月～2月			※【マイナビ：インターンシップ&キャリア発見フェア】等各種就活イベント ※各企業でのインターンシップ等（オープンカンパニー・職場体験）に挑戦！
	11/11(水)	14:50～16:20		第7回就活研究②【OB・OG、就活サポーターの活用】
	11/18(水)	14:50～16:20		第8回先輩からのメッセージ
	1/13(水)	14:50～16:20		第9回就活研究③【企業の人事担当者から学ぶ】
	1/20(水)	14:50～16:20		第7回知って役立つワークルール講座
	1/27(水)	14:50～16:20		第10回就職パワーアップ講座～求人票の見方～
	2月			※【マイナビ】等各種就活直前イベントに挑戦！
	(仮) 3/1(明)	13:00～17:00		【大学コンソーシアム】「岡山県合同企業説明会」への参加推奨

2027年度 就職ガイダンス計画（案）

年	月日	時間	2028年3月卒業予定者 (大学1～3年生・短大1年生)
2027年	1/19(水)	14:50～16:20	第11回知って役立つワークルール講座

多様な働き方も広がる中で、就職支援センターでは、一人一人の学生と向き合い、希望する進路に就けるよう、きめ細かいバックアップ体制と様々な取り組みに挑戦しています。お子様の就職に関する相談は遠慮なく、ご連絡ください。



就職支援センター（直通）
○八六二二九三〇六七九
e-mail: recruit@ejc.ac.jp

図3 保護者の皆様に七つのお願い

- 1 前向きな行動には積極的な激励をしてください
- 2 長所をしっかりとアドバイスしてあげてください
- 3 社会人の先輩として、保護者の経験を語って聞かせてあげてください
- 4 お子様の意思を否定したり、一方的な押し付けをしたりしないでください
- 5 過保護はやめて独り立ちさせてください
- 6 後ろ向きな発言をしないようにしてください
- 7 弱気なお子様へ甘い言葉をかけないでください

事務局より

学修や行事、サークル活動を支援します！

「教学・アドミッション部」

今年度より、教務部教務課と入試広報部の入試担当の部門が統合され、教学・アドミッション部教学・アドミッション課（教務担当）（入試担当）となりました。入試担当は入学試験実施と新入生を対象とする特待・優待・奨学制度の実務を担います。教務担当は入学してからの授業履修登録、成績や学籍の管理、テキストの購入等を担います。本学ではインターネットを活用した教務システムUNIIPAを、個々の授業の出欠管理、学修指導、成績管理、及び、学生と教職員間の連絡に活用しています。そこで、UNIIPAの活用について皆様に二つお願いがあります。

①毎日UNIIPAを確認するようお願いいたします。

②ご家族の方も単位取得状況のご確認を！

スマホや自宅のパソコンからIDとパスワードを入力し、UNIIPAにログインして、単位取得状況を見ることが出来ます。学園HPの「在学生の方」から「学生支援」の所にある「中国学園UNIIPA」をクリックしてください。不明なときは教務担当までご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

「学生支援部（学生支援）」

後援会の皆様には、平素より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年度、組織の改編により学生支援部・学生支援課に部署名称が変更されましたが、学生の皆さんが充実した学生生活を送ることができるように、引き続き学生生活全般をサポートしています。

学生支援センターでは、学生証・通学証明書・学割証等の発行、奨学金・傷害保険の申請などの窓口業務を主にを行っています。保健室では、「学生一人ひとりが健康的で豊かな学生生活を送ること」を目標として、健康診断の実施及び事後措置、日々の健康相談、応急処置、感染症の予防など、保健衛生に関する業務を行っています。学生相談室では、臨床心理士、公認心理士の資格を持つ専門のカウンセラーが、学生生活の中で起こる様々な問題について相談に応じています。また、消費者問題や人権問題など、社会生活に必要な知識を身に付けるための「学生支援セミナー」を実施しています。

今後、学生の皆さんが安心して学び、自己実現できる環境整備に努めます。後援会の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大学祭へのご案内

中国学園学園祭「白鷺祭」を2026年10月10日(出)、11日(日)の2日間にわたって開催します。

昨年は「白鷺祭」60周年という節目の年でしたが、それを「還暦」にたとえ、61周年となる今回のテーマを「Re:Start～61回目の第一歩～」としました。このテーマには、「白鷺祭をさらに盛り上げるために、新たに生まれ変わった白鷺祭にしたい!」という実行委員会の学生たちの熱い思いが込められています。

白鷺祭では、学科による研究成果の展示、音楽や和太鼓、ダンスなどのサークル発表、飲食を提供する模擬店、トークショー、お笑いライブ、豪華賞品が当たる抽選会など、楽しい企画をたくさん用意しています。皆様のお越しをお待ちしています。

Café

大学祭で『後援会Café』を出店します


中国学園学園祭「第61回白鷺祭」に後援会役員による「後援会Café」を出店させていただきます。

飲み物は全て無料で、一息できるお菓子もお配りします。後援会活動の展示もありますので、大学祭へお越しの際は是非後援会カフェにもお立ち寄りください。

10月11日(日)のみの出店となります。
(10時～15時)お待ちしております。

**第61回全日本大学ソフトボール選手権大会
中国地区予選会個人賞(盗塁賞)**

令和8年5月16日・17日に開催されました第61回全日本大学ソフトボール選手権大会中国地区予選会において中国学園大学女子ソフトボール部の川本帆月さんが個人賞を受賞しました。おめでとうございます①

☆盗塁賞☆ 川本 帆月 (人間栄養学科1年)

女子ソフトボール部は昨年度もホームラン賞や打率賞、防御率賞等受賞しています。ますますの活躍を!!


**中国大学バレーボールリーグ戦
秋・春季大会優勝!!**

「中国大学バレーボールリーグ戦 2025年秋・2026年春季大会一部リーグ戦」において中国学園大学女子バレーボール部が優勝いたしました。2025年度春季優勝から3期連続の優勝という快挙を達成しました!おめでとうございます②

今後とも、皆様のご支援ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。


**3期連続
優勝**

第2表

令和8年度 収支予算 (令和8年4月1日～令和9年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部					
費 目	予 算 額		差 異	備 考	
	令和8年度	令和7年度			
繰越金	2,035,996	1,947,290	88,706	前年度会計から	
入会金	1,884,000	1,506,000	378,000	6,000×314名（新入学生+2年次転入学生+3年次編入生） ※1名入学辞退者で返金なし該当者のため増・新入学生1名、3年次編入生本学卒のため免除	
会費	9,948,000	8,748,000	1,200,000	24,000×414名（新入学生+3年次編入生+大学3年生） 12,000×1名（2年次転入学生1年分）	
受取利息	100	35	65	預金利息	
計	13,868,096	12,201,325	1,666,771		
支 出 の 部					
費 目	予 算 額		差 異	備 考	
	令和8年度	令和7年度			
会議費	850,000	750,000	100,000	役員会 年3回（6月・10月・3月）、後援会カフェ運営費、総会1会場（全地区合同）	
消耗品費	100,000	70,000	30,000	ファイル、封筒代等	
通信費	400,000	300,000	100,000	総会案内発送、後援会だより発送、振込手数料、切手代等	
会誌発行費	165,000	165,000	0	後援会だより発行	
助成費	11,335,000	10,310,000	1,025,000		
＊学生生活指導費	2,135,000	2,110,000	25,000	各学科学生生活指導費 2,500円×854名	
＊部活動等助成費	1,000,000	900,000	100,000	各種体育大会出場への援助、大学祭援助 等	
＊学生食堂助成費	1,000,000	1,000,000	0	学食利用補助等、環境整備等	
＊広報活動助成費	500,000	0	500,000	広報活動助成（グッズ等）	
＊就職支援助成費	400,000	300,000	100,000	就職支援助成	
＊施設等助成費	5,000,000	5,000,000	0	マイク設備更新、学内整備等	
＊災害対策助成費	1,300,000	1,000,000	300,000	新1年生・新2年次転入生・新3年次編入生（315人） 防災備蓄品 帰宅困難者支援セット（1日分）3,580円（税抜）	
予備費	1,018,096	606,325	411,771	慶弔費等	
計	13,868,096	12,201,325	1,666,771		

後援会支援事業

施設設備等

第1学生ホール南側入り口をスロープにしました。バリアフリーに対応できスムーズな動線が確保することができるようになりました。



第1学生ホール南側スロープ
本館1階

災害対策助成事業

講義中に災害発生したことを想定して、在学生全員に最低限必要な1日分の飲料水と食料等の防災備蓄品を設置しています。これは何ものければ卒業時に記念品として配付します。令和8年度新入学生分についても、後援会で支援しました。

7月初旬に設置が完了したことをご報告させていただきます。



帰宅困難者支援セット

学園からのお知らせ

学生×久米南町×Cafe西十九社

7月27日～31日の期間限定で国際教養学部の学生と教員が考案したきゅうりを使用した多国籍料理の販売が実現しました。

それぞれの魅力が合わさって美味しさもアップ！
楽しいコラボ企画となりました。

国際教養学部佐々木ゼミでは「食」を通じた地域活性化に取り組んでいます。
日本人学生・留学生と皆で活動しています。



キャンパス環境をさらに快適に

10号館1階の学生・就職支援センター入口スロープ



10号館1階の学生・就職支援センター入口のバリアフリー化や、11号館・本館のトイレの改修工事を実施し、学生の皆さんがより利用しやすい環境づくりを進めています。

令和7年度事業報告

1. 総会及び学科別懇談会

開催日	地区別	会場	摘要
R7.6.21(土) 10:30~	全地区合同	本学 (12号館)	【総会】予算、決算及び事業計画等協議、就職情報等 【学科別懇談会】総会終了後、各学科ごとに保護者等の方と学部・学科長をはじめ教員との懇談

2. 会議等

会議名	開催日	会場	摘要
会計監査	R7.5.19(月) R7.5.24(土)	本学内	監査委員2名、会計監査の実施
第1回役員会	R7.6.21(土) 9:20~ 10:00	本学内	令和6年度事業及び決算協議 令和7年度事業計画案及び予算案協議
第2回役員会	R7.10.11(土) 10:00~ 10:45	本学内	令和7年度予算中間報告 就職支援状況等
後援会模擬店 準備『後援会 カフェ』	R7.10.11(土) 11:00~	本学内	大学祭1日目 役員会終了後『後援会カフェ』準備 (終了後大学祭自由見学)
後援会カフェ	R7.10.12(日)	本学内	大学祭2日目 『後援会カフェ』を出店
第3回役員会	R8.3.7(土) 10:00~	本学内	令和7年度予算執行状況、令和7年度行事報告、次年度実施計画等

3. 広報活動

(1)広報誌「後援会だより」第51号

体裁：A4版8ページ カラー印刷

発行年月日 令和7年9月 発行部数：1,100部

配付先：全保護者・教職員・後援会役員等

※郵送にて配付（教職員除く）

(2)後援会HPについて

令和7年9月・12月に後援会の活動について更新

4. 助成事業（主な事業）

- | | |
|---------------|-------------|
| (1)学生生活指導助成事業 | (5)広報活動助成事業 |
| (2)部活動等助成事業 | (6)施設等助成事業 |
| (3)学生食堂助成事業 | (7)災害対策助成事業 |
| (4)就職支援助成事業 | |

令和8年度事業計画

1. 総会及び学科別懇談会

開催日	地区別	会場	摘要
R8.6.20(土) 10:30~ 13:30	全地区合同	本学 (12号館)	【総会】予算、決算及び事業計画等協議、就職情報等 【学科別懇談会】総会終了後、各学科ごとに保護者等の方と学部・学科長をはじめ教員との懇談

2. 会議等

会議名	開催日	会場	摘要
会計監査	R8.5.18(月)	本学内	監査委員2名、会計監査の実施
第1回役員会	R8.6.20(土) 9:20~ 10:00	本学内	令和7年度事業及び決算協議 令和8年度事業計画案及び予算案協議
第2回役員会	R8.10.10(土) 10:00~ 10:30	本学内	事業及び予算執行状況協議 就職情報と内定状況について
後援会模擬店 準備『後援会 カフェ』	R8.10.10(土) 10:50~	本学内	大学祭1日目 役員会終了後『後援会カフェ』準備 (終了後大学祭自由見学)
後援会カフェ	R8.10.11(日)	本学内	大学祭2日目 『後援会カフェ』を出店
第3回役員会	R9.3.6(土) 10:00~	本学内	決算見込報告

3. 広報活動

(1)広報誌「後援会だより」第52号

体裁：A4版8ページ カラー印刷

発行年月日 令和8年9月 発行部数：1,000部

配付先：全保護者・教職員・後援会役員等

※郵送にて配付（教職員除く）

(2)後援会HPについて

令和8年9月・12月に後援会の活動について更新

4. 助成事業（主な事業）

- | | |
|---------------|-------------|
| (1)学生生活指導助成事業 | (5)広報活動助成事業 |
| (2)部活動等助成事業 | (6)施設等助成事業 |
| (3)学生食堂助成事業 | (7)災害対策助成事業 |
| (4)就職支援助成事業 | |

総会終了後は各学部・学科へ分かれて移動し、学科別懇談会を開催いたしました。
保護者等の方と直接お話をさせていただき、学生の様子や、保護者等の方の要望などお聞きすることができ、非常に有意義な会となりました。今後も後援会活動へいただいたご意見につきましては、役員会で検討させていただきたいと思っております。この度、ご参加くださいました保護者等の皆様には、感謝を申し上げます。

学科別懇談会

今回の総会でも多くの方にご参加いただき、学園で行われている状況や様子がほんの一部ですが、ご紹介できました。

今年度の状況報告、事務部からは、後援会支援事業について施設整備等で第一学生ホール南側入り口スロープ設置と環境整備等でコンビニ設置に伴う防犯カメラ設置のご報告をさせていただきました。その他で令和7年9月には学生からの要望の多かったコンビニ設置や「Cafe 西十九社」のOpenについてご報告をさせていただきました。教学・アドミッション部からは教務システムUNIVERSAL PASSPORT（通称UNIPASS）についての説明や学修ポートフォリオ・学年暦等の説明をしました。学生支援部学生支援からは窓口業務内容や行事・奨学金等やサポーター活動等の紹介、学生便覧の活用と学生サポートの強化等の説明をしました。学生支援部就職支援からは就職支援状況や就活スケジュール、就職ガイダンスの状況、インターンシップの重要性や保護者の皆様へのお願い等の内容で説明が行われました。



総会

令和8年度
後援会総会並びに
学科別懇談会を開催



今年度は、六月二十日(土)に本学を会場として、総会並びに学科別懇談会を開催いたしました。八十二名の保護者等が参加し、左記の議案について協議され、すべての議案は承認されました。

第一号議案 令和8年度役員選任について

第二号議案 後援会会則の一部改正について

第三号議案 令和7年度事業報告及び決算について

第四号議案 令和8年度事業計画案及び予算案について

【大学の状況報告】事務部からは、後援会支援事業について施設整備等で第一学生ホール南側入り口スロープ設置と環境整備等でコンビニ設置に伴う防犯カメラ設置のご報告をさせていただきました。その他で令和7年9月には学生からの要望の多かったコンビニ設置や「Cafe 西十九社」のOpenについてご報告をさせていただきました。教学・アドミッション部からは教務システムUNIVERSAL PASSPORT（通称UNIPASS）についての説明や学修ポートフォリオ・学年暦等の説明をしました。学生支援部学生支援からは窓口業務内容や行事・奨学金等やサポーター活動等の紹介、学生便覧の活用と学生サポートの強化等の説明をしました。学生支援部就職支援からは就職支援状況や就活スケジュール、就職ガイダンスの状況、インターンシップの重要性や保護者の皆様へのお願い等の内容で説明が行われました。